

アップルスポーツカレッジ

アスレティックトレーナー科

カリキュラム概要

(2023年度)

科目名	HR I	担当講師	佐野
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	2
使用テキスト	なし		
評価方法	出席日数		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	全コース		

科目概要	クラスでの人間関係づくり、連絡場所、人間教育の場
到達目標	全員進級

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	学校生活について	
	3	動機付け	
	4	イベント開催	
	5	資格対策	
	6	資格対策	
	7	動機付け	
	8	イベント開催	
	9	資格対策	
	10	資格対策	
	11	今後の生活について	
	12	イベント開催	
	13	動機付け	
	14	動機付け	
	15	まとめ	
	16	オリエンテーション	
	17	学校生活について	
	18	動機付け	
	19	イベント開催	
	20	資格対策	
	21	就職について	
	22	動機付け	
	23	イベント開催	
	24	資格対策	
	25	就職について	
	26	今後の生活について	
	27	動機付け	
	28	資格対策	
	29	イベント開催	
	30	まとめ	

備考	
----	--

科目名	PC I	担当講師	藤澤 恵子
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	Wordクイックマスター、文書処理技能認定試験3級問題集		
評価方法	出席日数・授業態度・提出課題・検定結果		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	上記学科の全コース		

科目概要	ブラインドタッチを習得し、Word2021の文書処理（編集機能、罫線機能、図形機能）等の基本的な操作から応用操作までを習得する		
到達目標	Word文書処理技能検定試験3級合格		

	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	導入・動機づけ・キーボード表作成	プリント対応
科目内容	2	キータッチの練習（ホームポジション・母音・GHキー）	〃
	3	キータッチの練習（前回復習・か行・さ行・だ行）	〃
	4	キータッチの練習（前回復習・は行・が行・上段た行）	〃
	5	キータッチの練習（前回復習・上段ら行・や行）	〃
	6	キータッチの練習（前回復習・わ行・ば行、下段な行・ま行）	〃
	7	キータッチの練習（前回復習・下段ば行）	〃
	8	キータッチの練習（前回復習・下段ざ行・句読点・数字）	〃
	9	前回復習、拗音・促音	〃
	10	同音異義語、文節	〃
	11	問題集入力練習	P.18,51,59,68
	12	練習問題3	問題集p.18～
	13	練習問題3	問題集p.20～
	14	練習問題3	問題集p.22～
	15	復習	
	16	模擬問題4	問題集p.51～
	17	模擬問題4	問題集p.53～
	18	模擬問題6	問題集p.68～
	19	模擬問題6	問題集p.71～
	20	模擬問題7	問題集p.76～
	21	模擬問題7	問題集p.79～
	22	模擬問題5	問題集p.59～
	23	模擬問題5	問題集p.62～
	24	模擬試験1	
	25	模擬試験2	
	26	模擬試験3	
	27	模擬試験4	
	28	模擬試験5	
	29	模擬試験7	
	30	検定対策	

備 考	対面授業のみ
-----	--------

科目名	就職実務学Ⅰ	担当講師	佐野
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	1
使用テキスト	なし		
評価方法	出席日数		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	全コース		

科目概要	業界を知る・就職活動準備
到達目標	就職活動開始準備完了

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	業界情報①	
	3	業界情報①	
	4	業界情報①	
	5	保険制度	
	6	保険制度	
	7	動画授業①	
	8	動画授業②	
	9	動画授業③	
	10	動画授業④	
	11	履歴書作成①	
	12	履歴書作成②	
	13	履歴書作成③	
	14	礼節指導①	
	15	礼節指導②	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	HRⅡ	担当講師	佐野
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	2
使用テキスト	なし		
評価方法	出席日数		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	全コース		

科目概要	クラスでの人間関係づくり、連絡場所、人間教育の場
到達目標	全員進級

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	学校生活について	
	3	動機付け	
	4	イベント開催	
	5	資格対策	
	6	資格対策	
	7	動機付け	
	8	イベント開催	
	9	資格対策	
	10	資格対策	
	11	今後の生活について	
	12	イベント開催	
	13	動機付け	
	14	動機付け	
	15	まとめ	
	16	オリエンテーション	
	17	学校生活について	
	18	動機付け	
	19	イベント開催	
	20	資格対策	
	21	就職について	
	22	動機付け	
	23	イベント開催	
	24	資格対策	
	25	就職について	
	26	今後の生活について	
	27	動機付け	
	28	資格対策	
	29	イベント開催	
	30	まとめ	

備考	
----	--

科目名	PC II	担当講師	藤澤 恵子
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	Excel2021クイックマスター・問題集・プリント		
評価方法	出席日数・授業態度・検定結果		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記学科の全コース		

科目概要	エクセルの表計算ソフトの基本操作(計算、データベース、グラフ)を理解し、検定3級合格を目指す。		
到達目標	Excel表計算処理技能認定試験 3級合格		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	エクセルの基本操作(画面構成、画面操作)	2～22
	2	データの編集(データの入力、数式の入力、データの移動とコピー)	24～56
	3	表の編集(罫線の設定、セルの書式設定、表示形式の設定)	58～78
	4	表の編集(列幅や行高さの調整、挿入と削除)	79～84
	5	ブックの印刷(ページ設定の変更、印刷範囲の設定)	86～102
	6	グラフの作成(グラフの作成、編集)	104～125
	7	図形の作成(図形の作成、編集)	126～140
	8	ブックの利用と管理(ワークシートの管理、ウィンドウの操作)、関数	142～174
	9	関数	175～190
	10	データベース機能(リストの作成、並べ替え、抽出、テーブル機能)	192～212
	11	練習問題1	2～5
	12	練習問題1	5～7
	13	練習問題2	8～11
	14	練習問題2	11～13
	15	試験	
	16	前期課題確認と復習	
	17	練習問題3	14～17
	18	練習問題3	17～19
	19	模擬問題1	22～24
	20	模擬問題1	25～27
	21	模擬問題2	28～31
	22	模擬問題2	31～33
	23	模擬問題3	34～37
	24	模擬問題3	37～39
	25	模擬問題4(テスト)	40～45
	26	模擬問題5(テスト)	46～51
	27	模擬問題6(テスト)	52～57
	28	模擬問題7(テスト)	58～63
	29	検定対策(まとめ)	
	30	試験	

備考	対面授業のみ
----	--------

科目名	就職実務学Ⅱ	担当講師	佐野
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	プリント等		
評価方法	出席・実技評価		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	全コース		

科目概要	業界を知る・就職活動準備・支援
到達目標	全員進路決定

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	就職活動①	
	3	就職活動②	
	4	就職活動③	
	5	就職活動④	
	6	就職活動⑤	
	7	就職活動⑥	
	8	就職活動⑦	
	9	就職活動⑧	
	10	就職活動⑨	
	11	就職活動⑩	
	12	就職活動⑪	
	13	就職活動⑫	
	14	就職活動⑬	
	15	就職活動⑭	
	16	オリエンテーション	
	17	就職活動①	
	18	就職活動②	
	19	就職活動③	
	20	就職活動④	
	21	就職活動⑤	
	22	就職活動⑥	
	23	就職活動⑦	
	24	就職活動⑧	
	25	就職活動⑨	
	26	就職活動⑩	
	27	就職活動⑪	
	28	就職活動⑫	
	29	就職活動⑬	
	30	就職活動⑭	

備考	対面授業とオンライン授業の併用
----	-----------------

科目名	HRⅢ	担当講師	佐野
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	2
使用テキスト	なし		
評価方法	出席		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	全コース		

科目概要	クラスでの人間関係づくり、連絡場所、人間教育の場
到達目標	全員卒業

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	学校生活について	
	3	動機付け	
	4	イベント開催	
	5	資格対策	
	6	資格対策	
	7	動機付け	
	8	イベント開催	
	9	資格対策	
	10	資格対策	
	11	今後の生活について	
	12	イベント開催	
	13	動機付け	
	14	動機付け	
	15	まとめ	
	16	オリエンテーション	
	17	学校生活について	
	18	動機付け	
	19	イベント開催	
	20	資格対策	
	21	就職について	
	22	動機付け	
	23	イベント開催	
	24	資格対策	
	25	就職について	
	26	今後の生活について	
	27	動機付け	
	28	資格対策	
	29	イベント開催	
	30	まとめ	

備考	対面授業とオンライン授業の併用
----	-----------------

科目名	トレーニング科学	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	2
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅲ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①トレーニング理論とその方法 ②トレーニング計画とその実際 ③体力テストとその活用 ④スキルの獲得と獲得過程
到達目標	

	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
科目内容	2	Ⅲ－８－①	
	3		
	4		
	5	Ⅲ－８－②	
	6		
	7		
	8	Ⅲ－８－③	
	9		
	10		
	11	Ⅲ－８－④	
	12		
	13		
	14	まとめ	
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	競技者育成システム論	担当講師	村山 敏夫
		実務経験	有
履 修 期 間	前期	単 位 数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅲ		
評 価 方 法	授業出席、定期試験による		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対 象 コ ー ス	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科 目 概 要	①トップアスリートを育てるために ②トップアスリートの育成・強化の方法とその評価 ③競技力向上のためのチームマネジメント ④競技力向上の為の情報とその活用
到 達 目 標	

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	Ⅲ－9－①	
	3	Ⅲ－9－②	
	4	Ⅲ－9－③	
	5	Ⅲ－9－④	
	6	まとめ	
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	コーチングⅠ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①スポーツ指導者とは ②スポーツ指導者の倫理 ③指導者の心構え・視点 ③世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割 ④指導計画の立て方 ⑤スポーツ活動と安全管理
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・Ⅰ－2－①	
	2	Ⅰ－2－②	
	3	Ⅰ－2－③	
	4	Ⅰ－2－④	
	5	Ⅰ－6－①	
	6	Ⅰ－6－②・まとめ	
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	スポーツ心理学	担当講師	森 恭
		実務経験	有
履 修 期 間	後期	単 位 数	2
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ、Ⅲ		
評 価 方 法	授業出席、定期試験による		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対 象 コ ー ス	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科 目 概 要	①スポーツと心 ②スポーツにおける動機付け ③コーチングの心理 ④メンタルマネジメント ⑤指導者のメンタルマネジメント
到 達 目 標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	Ⅱ－3－①	
	3		
	4		
	5	Ⅱ－3－②	
	6		
	7		
	8	Ⅱ－3－③	
	9		
	10		
	11	Ⅲ－6－①	
	12		
	13		
	14	Ⅲ－6－②	
	15		
	16		
	17	まとめ	
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	スポーツ医学Ⅰ	担当講師	大滝 弘
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①スポーツと健康 ②スポーツ活動中に多いケガや病気 ③救急処置
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	I-4-①	
	3	I-4-②	
	4	I-4-③	
	5	まとめ	
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	スポーツ医学Ⅱ	担当講師	山本 智章 佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	2
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅲ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①アスリートの健康管理 ②アスリートの内科的障害と対策 ③アスリートの外傷・障害と対策 ④アスレチックリハビリテーションとトレーニング計画 ⑤コンディショニングの手法 ⑥ スポーツによる精神障害と対策 ⑦特殊環境下での対応 ⑧ドーピング防止
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・Ⅲ－10－①（山本）	
	2		
	3	Ⅲ－10－②（山本）	
	4	Ⅲ－10－③（山本）	
	5	Ⅲ－10－⑥（山本）	
	6	Ⅲ－10－⑦（山本）	
	7	Ⅲ－10－④（佐野）	
	8	Ⅲ－10－⑤（佐野）	
	9	Ⅲ－10－⑧（山本）	
	10	Ⅲ－10－⑧・まとめ（山本）	
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	スポーツ社会学Ⅰ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	0.5
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①スポーツの概念と歴史 ②文化としてのスポーツ
到達目標	社会スポーツの理解

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・Ⅰ－1－①	
	2	Ⅰ－1－②	
	3	まとめ	
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	スポーツ社会学Ⅱ	担当講師	大庭 昌昭
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①社会の中のスポーツ ②我が国のスポーツプロモーション
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・Ⅱ－1－①	
	2	Ⅱ－1－②	
	3		
	4	まとめ	
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	スポーツ経営学	担当講師	脇野 哲郎
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①総合型地域スポーツクラブの育成と運営 ②スポーツ組織のマネージメントと事業のマーケティング ③スポーツ事業のプロモーション
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・Ⅱ－4－①	
	2	Ⅱ－4－①	
	3	Ⅱ－4－②	
	4		
	5	Ⅱ－4－③	
	6	まとめ	
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	スポーツ栄養学	担当講師	伊藤 直美
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①スポーツと栄養 ②アスリートの栄養摂取と食生活
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	I－5－①	
	3		
	4	Ⅲ－4－①	
	5	まとめ	
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	発育発達論Ⅰ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	0.5
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①発育発達期の身体的特徴、心理的特長 ②発育発達期に多いケガや病気 ③発育発達期のプログラム
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・Ⅰ－７－①	
	2	Ⅰ－７－②	
	3	Ⅰ－７－③、まとめ	
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	トレーニング論	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履 修 期 間	後期	単 位 数	0.5
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I		
評 価 方 法	授業出席、定期試験による		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	1
対 象 コ ー ス	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科 目 概 要	①体力とは ②トレーニングの進め方 ③トレーニングの種類
到 達 目 標	

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・I－3－①	
	2	I－3－②	
	3	I－3－③・まとめ	
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	運動生理学	担当講師	牛山 幸彦
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅲ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①運動器のしくみと働き ②呼吸循環器系の働きとエネルギー供給 ③スポーツバイオメカニクスの基礎
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	Ⅲ－７－①	
	3	Ⅲ－７－②	
	4	Ⅲ－７－②	
	5	Ⅲ－７－③	
	6	まとめ	
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	スポーツ行政学	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	0.5
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり ②総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義 ③地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・I－8－①	
	2	I－8－②	
	3	I－8－③・まとめ	
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	発育発達論Ⅱ	担当講師	牛山 幸彦
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①中高年者とスポーツ ②女性とスポーツ ③障害者とスポーツ
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	Ⅱ－5－①	
	3	Ⅱ－5－②	
	4	Ⅱ－5－③	
	5	まとめ	
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	コーチングⅡ	担当講師	大庭 昌昭
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	1.5
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ、Ⅲ		
評価方法	授業出席、定期試験による		

対象学科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科目概要	①スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 ②スポーツと人権 ③プレーヤーと指導者の望ましい関係 ④ミーティングの方法 ⑤世界を頂点を目指すアスリート育成・強化の在り方と指導者の役割
到達目標	

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・Ⅱ－2－①	
	2	Ⅱ－2－①	
	3	Ⅱ－2－②	
	4	Ⅲ－2－①	
	5	Ⅲ－2－②	
	6	Ⅲ－2－③	
	7	Ⅲ－2－③・まとめ	
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科 目 名	スポーツ科学 I	担当講師	牛山 幸彦
履 修 期 間	通年	単 位 数	4
使用テキスト	トレーニング指導者テキスト、ワークブック		
評 価 方 法	出席状況、授業態度、小テスト、期末試験の点数		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対 象 コ ー ス	AT		

科 目 概 要	トレーニング科学とバイオメカニクスの基礎知識の習得。		
到 達 目 標	同上		

	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・1年次の復習	
	2	体力の概念について	12～20
	3	体力の概念について	
	4	体力の概念について	
	5	体カトレーニングについて	20
	6	体カトレーニングについて	
	7	体カトレーニングについて	
	8	体カトレーニングについて	
	9	運動の記述について	64
	10	運動の記述について	
	11	運動の記述について	
	12	運動の分析について	
	13	運動の分析について	67
	14	運動の分析について	
	15	まとめ	
	期末試験		
	16	スポーツ動作のバイオメカニクス(走る・歩く)	74～78
	17	スポーツ動作のバイオメカニクス(走る・歩く)	
	18	スポーツ動作のバイオメカニクス(走る・歩く)	
	19	スポーツ動作のバイオメカニクス(投げる・跳ぶ・打つ・蹴る)	
	20	スポーツ動作のバイオメカニクス(投げる・跳ぶ・打つ・蹴る)	
	21	スポーツ動作のバイオメカニクス(投げる・跳ぶ・打つ・蹴る)	
	22	スポーツ動作のバイオメカニクス(すべる・泳ぐ・トレーニング動作)	
	23	スポーツ動作のバイオメカニクス(すべる・泳ぐ・トレーニング動作)	200～205
	24	動作の成り立ちと神経系の発達について	
	25	動作の成り立ちと神経系の発達について	
	26	動作の成り立ちと神経系の発達について	
	27	動作の習得と練習方法および内容について	
	28	動作の習得と練習方法および内容について	
	29	動作の習得と練習方法および内容について	
	30	まとめ	
	期末試験		

備 考	
-----	--

科 目 名	スポーツ外傷・傷害	担当講師	山本 智章 佐野 英朗
履 修 期 間	通年	単 位 数	4
使用テキスト	スポーツ外傷・傷害の基礎知識		
評 価 方 法	出席・テスト		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対 象 コ ー ス	AT		

科 目 概 要	スポーツにおける各種外傷・障害の基礎的な知識の習得
到 達 目 標	スポーツ外傷・障害の理解

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション (山本)	
	2	スポーツ外傷・障害総論 (山本)	2～4
	3	頸部の外傷・障害 (山本)	6～19
	4		
	5	腰背部骨盤の外傷・障害 (山本)	20～47
	6		
	7	肩部の外傷・障害 (山本)	49～57
	8		
	9	肘関節の外傷・障害 (山本)	59～69
	10		
	11	手・手指の外傷・障害 (山本)	70～84
	12		
	13	大腿部の外傷・障害 (山本)	85～98
	14		
	15	まとめ (山本)	
	期末試験		
	16	膝関節の外傷・障害 (山本)	101～118
	17		
	18	下腿部の外傷・障害 (山本)	119～155
	19		
	20	頭蓋骨骨折・脳損傷・脳震盪 (山本)	157～167
	21	脊髄損傷 (山本)	167～169
	22	胸腹部外傷 (山本)	170～172
	23	大出血・顔面・目 (山本)	173～183
	24	鼻・耳・歯 (山本)	184～198
	25	女性に特徴的なスポーツ外傷・障害 (佐野)	199～203
	26	成長期に特徴的なスポーツ外傷・障害 (佐野)	204～207
	27	高齢者に特徴的なスポーツ外傷・障害 (佐野)	209～212
	28	スポーツ整形外科的メディカルチャック (佐野)	213～215
	29		
	30	まとめ (佐野)	
	期末試験		

備 考	
-----	--

科目名	アスレティックリハビリテーションⅠ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	アスレティックトレーナーの役割・アスレティックリハビリテーション		
評価方法	出席・テスト		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	AT		

科目概要	アスレティックトレーナーの役割とアスレティックリハビリテーションの考え方・運動療法の理解・物理療法		
到達目標			

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	アスレティックトレーナー制度の歴史。	2～16
	3	諸外国におけるアスレティックトレーナーに相当する制度	17～25
	4	アスレティックトレーナーの任務と役割	26～34
	5	アスレティックトレーナーの業務	35～39
	6	アスレティックトレーナーの業務	40～46
	7	アスレティックトレーナーの活動	47～51
	8	アスレティックトレーナーの活動	52～58
	9	各競技のアスレティックトレーナー活動	59～94
	10	医科学スタッフの構造と役割	95～101
	11	医科学スタッフの構造と役割	102～109
	12	アスレティックトレーナーの組織と運営	110～128
	13	アスレティックトレーナーの組織と運営	129～136
	14	アスレティックトレーナーの目的と社会的立場	137～140
	15	アスレティックトレーナーの目的と社会的立場	141～170
	期末試験		
	16	アスレティックリハビリテーションの定義・概要	2～14
	17	機能評価の考え方・リスク管理の基礎知識・アスレティックリハビリテーションにおけるエクササイズの目的	15～18
	18	筋力回復、筋力増強エクササイズの基礎知識	19～32
	19	関節可動域回復、拡大エクササイズの基礎知識	33～39
	20	神経筋協調性回復、向上エクササイズ	40～47
	21	全身持久力回復、向上エクササイズ	48～52
	22	身体組成の管理に用いるエクササイズ	53～56
	23	再発予防、外傷予防のためのスポーツ動作エクササイズ	57～62
	24	物理療法学概論	63～68
	25	温熱療法	69～71
	26	寒冷療法	72～77
	27	電気刺激療法	78～79
	28	超音波療法	80～83
	29	鍼灸マッサージの有効利用方法	84～87
	30	補装具の使用目的・装具・テーピング・足底挿板	88～102
	期末試験		

備考	
----	--

科目名	救急処置	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	2
使用テキスト	救急処置		
評価方法	出席・テスト		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	全コース		

科目概要	スポーツ現場における応急処置の知識と、技術の習得		
到達目標	スポーツ現場における応急処置の知識向上と、技術の習得		

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	応急処置の重要性・心得・基本的留意点	2～7
	3	事故時の緊急対応計画と評価手順・外傷、障害の評価と手順	8～11
	4	皮膚などに傷のないけがの処置	12～22
	5		
	6	皮膚などに傷のあるけがの処置	24～32
	7		
	8	特殊な外傷の救急処置	35～50
	9		
	10	患部の固定法・運搬法	51～63
	11	緊急時の救命処置	67～97
	12		
	13	内科的疾患の救急処置	101～115
	14	現場における救急体制	117～140
	15		
	期末試験		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
29			
30			

備考	対面授業とオンライン授業の併用
----	-----------------

科目名	スポーツと栄養	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	スポーツ栄養学(化学同人)／筋肉をつくる食事・栄養パーフェクト事典		
評価方法	出席状況、提出物、筆記テスト、授業の取り組み方		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	1
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	各種トレーナーに必要な栄養知識を基礎・応用含め習得する。アスリートだけでなく一般健康成人の健康づくりに必要な栄養知識を含む。		
到達目標	スポーツ選手、スポーツ指導者、健康運動実践指導者に必要な栄養知識を身につける		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	(スポーツ栄養学)
	2	基礎栄養(五大栄養素とその働き、身体組成と体格指数)	P33～(3章)
	3	炭水化物(糖質・食物繊維)／食事の基本スタイル	P36～
	4	脂質／食事バランスと日本の栄養	P38～
	5	たんぱく質／SDG'sと栄養	P42～
	6	ビタミン／基礎代謝量の計算	P56～
	7	ミネラル／食品群の知識	P57～
	8	スポーツ・運動のエネルギー供給	P68～(4章)
	9	スポーツ・運動のエネルギー供給	
	10	運動時の栄養素の代謝と役割	P80～(5章)
	11	運動時の栄養素の代謝と役割	
	12	運動時の栄養素の代謝と役割	
	13	運動と水分、熱中症の予防	P132～(6章)
	14	前期の振り返りと試験範囲の説明	
	15	前期試験(筆記テスト)	
	16	▶目的別 栄養と食事のとり方 ①瞬発力UP	
	17	②筋肉増量、体重増減、体脂肪減少	
	18	③成長期の身長を伸ばす	
	19	④疲労回復(リカバリー)	
	20	⑤持久力UP	
	21	⑥コンディション維持	
	22	⑦ケガの改善、リハビリ	
	23	⑧熱中症予防、暑さ対策	
	24	⑨免疫力UP	
	25	⑩女性アスリート特有の問題	
	26	⑪貧血対策	
	27	▶状況別 栄養と食事のとり方 ②トレーニング計画	
	28	◎試合時の食事(試合前)	
	29	◎試合時の食事(試合後)	
	30	まとめ	

備考	
----	--

科目名	測定と評価	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤ 測定と評価		
評価方法	①出席状況 ②授業に取り組む姿勢 ③筆記試験の結果により総合的に評価を行う		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	AT		

科目概要	測定評価に必要な基礎能力の習得、測定評価に必要な企画・実践能力の習得
到達目標	測定評価に必要な基礎能力の習得、測定評価に必要な企画・実践能力の習得

	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
科目内容	2	評価の目的、意義および役割	P2～19
	3	身体組成の測定	P74～77
	4		
	5	関節弛緩性の測定	P32～33
	6	関節可動域の測定	P34～37
	7	筋タイトネステストの測定	P44～45
	8	徒手筋力検査法の測定	P48～53
	9		
	10	姿勢・身体アライメントの測定	P20～31
	11	機器を用いた筋力・筋パワーの測定	P54～63
	12	全身持久力の測定	P64～68
	13	敏捷性および協調性の測定	P69～72
	14	一般的な体力測定	P78～100
	15	まとめ	
	期末試験		
	16	スポーツ動作の観察・分析の目的と意義	P105
	17	歩行のバイオメカニクス	P106～108
	18	歩行動作に影響する要因	P111～115
	19	走動作のバイオメカニクス	P117～122
	20	走動作に影響を与える機能的、体力要因	P123～126
	21	外傷の発生機転となるような走動作の特徴とメカニズム	P127～129
	22	ストップ・方向転換動作のバイオメカニクス	P130～134
	23	ストップ・方向転換動作に影響を与える機能的、体力要因、外傷・障害発生機転	P136～138
	24	跳動作のバイオメカニクス	P139～140
	25	跳動作に影響を与える機能的、体力要因	P142～144
	26	外傷の発生機転となるような跳動作の特徴とメカニズム	P146～149
	27	投動作のバイオメカニクス、影響を与える機能的、体力要因	P151～157
	28	外傷の発生機転となるような走動作の特徴とメカニズム	P158～162
	29	あたり動作のバイオメカニクス	P163～165
	30	あたり動作の影響を与える機能的、体力要因、外傷の発生機転となるような走動作の特徴とメカニズム	P166～170

備考	
----	--

科目名	テーピング	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	予防とコンディショニング		
評価方法	出席・実技試験		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	全コース		

科目概要	テーピングの習得		
到達目標	必要に応じてテーピングができるようになるための実技習得		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	足関節テーピング(基本)－1	
	3	足関節テーピング(基本)－2	
	4	足関節テーピング(基本)－3	
	5	足関節テーピング(基本)－4	
	6	足関節テーピング(放射)－1	
	7	足関節テーピング(放射)－2	
	8	足関節テーピング(バスケット)－1	
	9	足関節テーピング(バスケット)－2	
	10	足関節テーピング(底屈)－1	
	11	足関節テーピング(底屈)－2	
	12	足関節テーピング(背屈)－1	
	13	足関節テーピング(背屈)－2	
	14	個人練習	
	15	実技試験	
	期末試験		
	16	膝関節テーピング(ACL)－1	
	17	膝関節テーピング(ACL)－2	
	18	膝関節テーピング(MCL)－1	
	19	膝関節テーピング(MCL)－2	
	20	肩関節テーピング(脱臼)－1	
	21	肩関節テーピング(脱臼)－2	
	22	肩関節テーピング(肩鎖)－1	
	23	肩関節テーピング(肩鎖)－2	
	24	肘関節テーピング(MCL)－1	
	25	肘関節テーピング(MCL)－2	
	26	肘関節テーピング(過伸展)－1	
	27	肘関節テーピング(過伸展)－2	
	28	その他のテーピング－1	
	29	その他のテーピング－2	
	30	実技試験	

備考	
----	--

科目名	ストレングストレーニングⅠ	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	NSCAジャパン ストレngths&コンディショニング エクササイズ・バイブル、NSCAコーチコース プレパレーションコース資料		
評価方法	出席、授業取り組み、実技テスト、レポート		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	1
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	機能改善(姿勢改善など)、ダイエット/体作り、健康増進、ストレス発散という一般人のニーズ、そしてアスリートのパフォーマンスアップというニーズに対して指導出来る能力を育成する為に、S&Cのストレングスをメインとして学んでいく。		
到達目標	①各種目の規定重量をかけた状態で、BSQ、DL、BP、BR、SP、フロンランジ、サイドランジの安全で効果的なフォームで実践できる。尚、7項目中5項目以上が各項目に合格基準 ②5大筋群(胸と背中、肩と腕、股関節、脚部、体幹部)をフリーウエイトEXで、2個ずつ安全で効果的なフォームで実践できる ③BP、Dフライ、BSQの安全な補助技術が実施できる		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション、ルール、エクササイズ体験	
	2	プレパレーションテキストの説明と体験(自体重スクワット、FSQ)	
	3	BSQ&ベンチプレス、DL&FR	
	4	BR、SP、SR	
	5	プレパレーションエクササイズとテスト種目実施	
	6	プレパレーションエクササイズとテスト種目実施	
	7	プレパレーションエクササイズとテスト種目実施	
	8	プレパレーションエクササイズとテスト種目実施	
	9	プレパレーションエクササイズとテスト種目実施	
	10	プレパレーションエクササイズとテスト種目実施	
	11	実技テスト	
	12	実技テスト	
	13	再テスト	
	14	再テスト	
	15	総復習	
	16	5大筋群のエクササイズ体験(多関節、単関節)	
	17	5大筋群のエクササイズ体験(多関節、単関節)	
	18	5大筋群のエクササイズ体験(多関節、単関節)	
	19	5大筋群のエクササイズ体験(多関節、単関節)	
	20	5大筋群のエクササイズ体験(多関節、単関節)	
	21	実技テスト(5大筋群26種類)	
	22	実技テスト(5大筋群26種類)	
	23	再テスト	
	24	再テスト	
	25	パーソナル指導の基礎練習	
	26	パーソナル指導の基礎練習	
	27	パーソナル指導の基礎練習	
	28	集団指導の基礎練習	
	29	集団指導の基礎練習	
	30	総復習	

備考	
----	--

科目名	トレーニング理論Ⅰ	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	5
使用テキスト	トレ検定2級テキスト、配布プリント		
評価方法	出席、提出物、試験		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	全コース		

科目概要	私達の、職業は「体を変える」きっかけ作りや、その具体的方法を競技者・一般人関係なく提供し、対象者の目的・要望を達成する事が仕事となる。その為、私達の仕事は、①目的・要望の把握から始まり②現状の把握(測定) ③コンディショニングの方向性の決定(評価) ④コンディショニングの中身の決定(プログラミング) ⑤実際の指導(実演と指導) という流れで実施することが必要になる。この科目では、主に①～④を学ぶ
到達目標	①トレーニング検定2級(専門用語理解、HOWどうすればいいのか?までの理解レベル) ②体を変える為のコンディショニングカテゴリーの理解

	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1		
科目内容	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16	トレ検定2級、CPTの合格レベルの共通認識、勉強方法	
	17	トレーニング理論1 レジスタンストレーニングのプログラムデザイン初級	
	18	解剖問題1～25問解説 →確認テスト	
	19	解剖問題26～50問解説 →確認テスト	
	20	栄養問題51～69解説 →確認テスト	
	21	TR問題70～103問解説 →確認テスト	
	22	TR問題104～137問解説 →確認テスト	
	23	SKILL UP CAMP	
	24	TR問題138～169問解説 →確認テスト	
	25	怪我問題170～195問解説、その他196～200問解説 →確認テスト	
	26	総合テスト→分析	
	27	9つのトレーニングカテゴリーを理解する	
	28	9つのトレーニングカテゴリーを理解する(ONLINE)	
	29	9つのトレーニングカテゴリーを理解する	
	30	まとめ・検定	

備考	
----	--

科目名	ビジネス能力検定対策Ⅰ	担当講師	伊藤(大桃)
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	1
使用テキスト	コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集(初級)・社会人常識マナーテキスト2・3級		
評価方法	出席状況、提出物、検定可否、授業の取り組み方		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	1
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	コミュニケーション検定初級および社会人常識マナー検定3級合格に必要な知識を身につける		
到達目標	コミュニケーション検定初級合格・社会人常識マナー検定3級合格		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・スケジュール確認	
	2	コミュニケーション検定(初級)対策・模擬問題	P2～5
	3	コミュニケーション検定(初級)対策・模擬問題の解説	P6～14
	4	コミュニケーション検定(初級)対策・過去問題	P15～22
	5	コミュニケーション検定(初級)対策・過去問題の解説	P23～34
	6	コミュニケーション検定(初級)対策・過去問題	P36～43
	7	コミュニケーション検定(初級)対策・過去問題の解説	P44～54
	8	コミュニケーション検定(初級)対策・過去問題	P55～59
	9	コミュニケーション検定(初級)対策・過去問題の解説	P60～71
	10	コミュニケーション検定(初級)対策・苦手項目の復習	P72～82
	11	コミュニケーション検定初級受験	
	12	社会人常識マナー検定3級対策	
	13	社会人常識マナー検定3級対策	
	14	社会人常識マナー検定3級対策	
	15	社会人常識マナー検定3級受験	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科 目 名	健康管理とスポーツ医学	担当講師	小屋俊之
履 修 期 間	半期	単 位 数	2
使用テキスト	ATテキスト		
評 価 方 法	出席・テスト		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	AT		

科 目 概 要	スポーツ現場における内科系疾患、健康管理についての知識の習得		
到 達 目 標	スポーツ現場における内科系疾患や健康管理について理解する		

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目	
	1	循環器系疾患・呼吸器系疾患・消化器系疾患・血液系疾患	2～20	
	2	腎・泌尿器疾患・代謝性疾患・皮膚疾患・呼吸器感染症	21～43	
	3	血液感染症・皮膚感染症・ウイルス性結膜炎・海外遠征時に注意すべき感染症	44～57	
	4	各競技ルールにみられる感染症対策	58～69	
	5	オーバートレーニング症候群・突然死	60～73	
	6	過換気症候群・摂食障害・減量による障害・喫煙・飲酒の問題	74～89	
	7	高所および低酸素環境下での身体への影響・高圧環境・暑熱環境・低温環境	90～99	
	8			
	9	時差・海外遠征時の諸問題	100～104	
	10	女性のスポーツ医学・成長期のスポーツ医学・高齢者のスポーツ医学	105～117	
	11	内科的メディカルチェック	118～133	
	12			
	13	ドーピングコントロール		
	14			
	15	まとめ		
	期末試験			
	16			
	17			
	18			
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
期末試験				

備 考	
-----	--

科目名	トレーニング理論Ⅱ	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	4
使用テキスト	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識		
評価方法	出席、授業取り組み、テスト		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	私達の仕事は、①目的・要望の把握から始まり ②現状の把握(測定) ③コンディショニングの方向性の決定(評価) ④コンディショニングの中身の決定(プログラミング) ⑤実際の指導(実演と指導) という流れで実施することが必要になる。この科目では、主に①～④を学ぶ
到達目標	NSCA—CPT合格レベルの知識

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	15章レジスタンスTRプログラムデザイン	
	2	15章レジスタンスTRプログラムデザイン	
	3	15章レジスタンスTRプログラムデザイン	
	4	16章有酸素持久力TRプログラムデザイン	
	5	16章有酸素持久力TRプログラムデザイン	
	6	16章有酸素持久力TRプログラムデザイン	
	7	17章プライオメトリクストレーニング・スピードトレーニング	
	8	17章プライオメトリクストレーニング・スピードトレーニング	
	9	20・21章 特別なクライアントの運動処方(心臓系・呼吸器系・整形外科系)	
	10	20・21章 特別なクライアントの運動処方(心臓系・呼吸器系・整形外科系)	
	11	18・19章特別なクライアントの運動処方(子供、高齢者、妊婦、栄養と代謝系)	
	12	18・19章特別なクライアントの運動処方(子供、高齢者、妊婦、栄養と代謝系)	
	13	18・19章特別なクライアントの運動処方(子供、高齢者、妊婦、栄養と代謝系)	
	14	12章柔軟性・自重・スタビリティボールエクササイズ	
	15	12章ウォーミングアップ・クールダウン(ストレッチの考え方)	
	16	9章 初回面談と評価	
	17	10章 体力評価の選択と管理	
	18	11章 体力テスト法と評価基準	
	19	5章 レジスタンスTRへの生理学的な応答と適応	
	20	6章 有酸素持久力TRへの生理学的な応答と適応	
	21	7章 パーソナルトレーニングにおける栄養	
	22	7章 パーソナルトレーニングにおける栄養	
	23	8章パーソナルトレーナーの為の運動心理学	
	24	8章パーソナルトレーナーの為の運動心理学	
	25	23章ピリオダイゼーション	
	26	23章ピリオダイゼーション作成	
	27	24章施設の機器と配置について	
	28	25章法的問題について	
	29	計算問題	
	30	計算問題	

備考	
----	--

科目名	現場ディスカッションⅠ	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	実習ノート		
評価方法	出席状況、取り組み		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科	対象学年	2.3
対象コース	全コース		

科目概要	現場実習に伴う準備を行う科目。心構えや諸ルールを確認し、現場実習で活躍できる人材になるための準備・振り返りを行う。
到達目標	各自実習活動において、社会人力の向上とトレーナーの知識・技術の向上と定着

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション、実習調査	
	2	実習面談	
	3	実習ノート配布と説明、そのほか諸ルールの共有	
	4	実習連絡とミーティング	
	5	実習連絡とミーティング	
	6	実習連絡とミーティング	
	7	実習連絡とミーティング	
	8	実習連絡とミーティング	
	9	実習連絡とミーティング	
	10	実習連絡とミーティング	
	11	実習連絡とミーティング	
	12	実習連絡とミーティング	
	13	実習連絡とミーティング	
	14	実習連絡とミーティング	
	15	前期まとめ	
	16	後期オリエンテーション	
	17	実習連絡とミーティング	
	18	実習連絡とミーティング	
	19	実習連絡とミーティング	
	20	実習連絡とミーティング	
	21	実習連絡とミーティング	
	22	実習連絡とミーティング	
	23	実習連絡とミーティング	
	24	実習連絡とミーティング	
	25	実習連絡とミーティング	
	26	実習連絡とミーティング	
	27	実習連絡とミーティング	
	28	実習連絡とミーティング	
	29	実習連絡とミーティング	
	30	前期まとめ	

備考	
----	--

科目名	応急処置演習	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履 修 期 間	半期	単 位 数	4
使用テキスト	AT教科書全般		
評 価 方 法	出席・実技試験		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対 象 コ ー ス	全コース		

科 目 概 要	AT実技試験対策		
到 達 目 標	AT合格		

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	HOPS演習①	
	2	HOPS演習②	
	3	HOPS演習③	
	4	固定法①	
	5	固定法②	
	6	固定法③	
	7	運搬法①	
	8	運搬法②	
	9	RICE演習①	
	10	RICE演習②	
	11	総合演習①	
	12	総合演習②	
	13	総合演習③	
	14	総合演習④	
	15	総合演習⑤	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	実技指導演習Ⅰ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	予防とコンディショニング		
評価方法	出席・実技試験		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	全コース		

科目概要	テーピングの習得		
到達目標	必要に応じてテーピングができるようになるための実技習得のコーチング		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目	
	1	オリエンテーション		
	2	足関節テーピング(基本)－1	指導・巡回	
	3	足関節テーピング(基本)－2	指導・巡回	
	4	足関節テーピング(基本)－3	指導・巡回	
	5	足関節テーピング(基本)－4	指導・巡回	
	6	足関節テーピング(放射)－1	指導・巡回	
	7	足関節テーピング(放射)－2	指導・巡回	
	8	足関節テーピング(バスケット)－1	指導・巡回	
	9	足関節テーピング(バスケット)－2	指導・巡回	
	10	足関節テーピング(底屈)－1	指導・巡回	
	11	足関節テーピング(底屈)－2	指導・巡回	
	12	足関節テーピング(背屈)－1	指導・巡回	
	13	足関節テーピング(背屈)－2	指導・巡回	
	14	個人練習	指導・巡回	
	15	実技試験	指導・巡回	
	期末試験			
	16	膝関節テーピング(ACL)－1	指導・巡回	
	17	膝関節テーピング(ACL)－2	指導・巡回	
	18	膝関節テーピング(MCL)－1	指導・巡回	
	19	膝関節テーピング(MCL)－2	指導・巡回	
	20	肩関節テーピング(脱臼)－1	指導・巡回	
	21	肩関節テーピング(脱臼)－2	指導・巡回	
	22	肩関節テーピング(肩鎖)－1	指導・巡回	
	23	肩関節テーピング(肩鎖)－2	指導・巡回	
	24	肘関節テーピング(MCL)－1	指導・巡回	
	25	肘関節テーピング(MCL)－2	指導・巡回	
	26	肘関節テーピング(過伸展)－1	指導・巡回	
	27	肘関節テーピング(過伸展)－2	指導・巡回	
	28	その他のテーピング－1	指導・巡回	
	29	その他のテーピング－2	指導・巡回	
	30	実技試験		

備考	
----	--

科目名	実技指導演習Ⅲ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	予防とコンディショニング		
評価方法	出席・実技試験		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	全コース		

科目概要	コーチング能力を指導演習の中で実践する
到達目標	コーチングを出来るようになる。

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	コーチングとは
	2	足関節テーピング(基本)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	3	足関節テーピング(基本)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	4	足関節テーピング(基本)－3	練習と前回振り返りと課題抽出
	5	足関節テーピング(基本)－4	練習と前回振り返りと課題抽出
	6	足関節テーピング(放射)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	7	足関節テーピング(放射)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	8	足関節テーピング(バスケット)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	9	足関節テーピング(バスケット)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	10	足関節テーピング(底屈)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	11	足関節テーピング(底屈)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	12	足関節テーピング(背屈)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	13	足関節テーピング(背屈)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	14	個人練習	練習と前回振り返りと課題抽出
	15	実技試験	練習と前回振り返りと課題抽出
	期末試験		
	16	膝関節テーピング(ACL)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	17	膝関節テーピング(ACL)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	18	膝関節テーピング(MCL)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	19	膝関節テーピング(MCL)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	20	肩関節テーピング(脱臼)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	21	肩関節テーピング(脱臼)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	22	肩関節テーピング(肩鎖)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	23	肩関節テーピング(肩鎖)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	24	肘関節テーピング(MCL)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	25	肘関節テーピング(MCL)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	26	肘関節テーピング(過伸展)－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	27	肘関節テーピング(過伸展)－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	28	その他のテーピング－1	練習と前回振り返りと課題抽出
	29	その他のテーピング－2	練習と前回振り返りと課題抽出
	30	実技試験	練習と前回振り返りと課題抽出

備考	
----	--

科目名	資格対策	担当講師	榎本 伊藤
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	8
使用テキスト	各養成テキスト・プリント		
評価方法	出席状況・取り組み		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	全コース		

科目概要	アスレティックトレーナー・健康運動指導士・JATI-ATI・各種ビジネス検定養成テキストの内容を理解する。		
到達目標	認定試験合格レベルの筆記能力		

	授業回	内 容	テキストページ・項目
科目内容	1	オリエンテーション	
	2	各種筆記対策	
	3	各種筆記対策	
	4	各種筆記対策	
	5	各種筆記対策	
	6	各種筆記対策	
	7	各種筆記対策	
	8	各種筆記対策	
	9	各種筆記対策	
	10	各種筆記対策	
	11	各種筆記対策	
	12	各種筆記対策	
	13	各種筆記対策	
	14	各種筆記対策	
	15	ふりかえり	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	AT筆記対策Ⅰ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	2
使用テキスト	スポーツ外傷障害・機能解剖		
評価方法	出席・実技試験		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	1
対象コース	全コース		

科目概要	外傷障害・機能解剖の理解とつながりの理解・出題形式への対応
到達目標	AT筆記合格

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	勉強方法①(口頭試問)足関節・栄養	
	3	勉強方法①(口頭試問)足関節・栄養	
	4	勉強方法①(口頭試問)足関節・栄養	
	5	勉強方法②(教科書検索)足関節・栄養	
	6	勉強方法②(教科書検索)足関節・栄養	
	7	勉強方法②(教科書検索)足関節・栄養	
	8	勉強方法③(過去問課題)足関節・栄養	
	9	勉強方法③(過去問課題)足関節・栄養	
	10	勉強方法③(過去問課題)足関節・栄養	
	11	勉強方法自由選択④膝・体幹	
	12	勉強方法自由選択④膝・体幹	
	13	勉強方法自由選択④膝・体幹	
	14	勉強方法自由選択④膝・体幹	
	15	模擬試験(足関節・膝・体幹・栄養)	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科 目 名	スポーツ科学Ⅱ	担当講師	牛山幸彦(1週～15週) 森 恭(16週～30週)
履 修 期 間	通年	単 位 数	4
使用テキスト	入門運動生理学、トレーニング指導者テキスト理論編、ワークブック		
評 価 方 法	①出席状況 ②授業に取り組む姿勢 ③筆記試験 の結果により総合的に評価を行う		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	AT		

科 目 概 要	スポーツ心理学と運動生理学の基礎的知識の習得
到 達 目 標	運動生理学の基礎的知識の習得

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目	
	1	オリエンテーション		
	2	筋収縮とエネルギー供給系	1～11	
	3	筋線維の種類とその特徴	12～20	
	4	神経系の役割	21～31	
	5	筋の収縮様式と筋力	32～43	
	6	運動と循環	44～50	
	7	運動と呼吸	51～64	
	8	運動とホルモン	65～74	
	9	身体組成と肥満	75～82	
	10	運動処方	83～93	
	11	運動と生活習慣病	94～106	
	12	運動と体温調節	107～112	
	13	筋疲労の要因	113～120	
	14	老化に伴う身体機能の変化・運動と栄養	121～139	
	15	まとめ		
	期末試験			
	16	オリエンテーション		
	17	運動と心理に関する基礎理論	136～143	
	18			
	19			
	20			
	21	スポーツ選手の競技力向上への活用	144～151	
	22			
	23			
	24			
	25	一般人の健康増進への活用	152～158	
	26			
	27			
	28			
	29	まとめ		
	30			
	期末試験			

備 考	
-----	--

科目名	NSCA-CPT対策	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	4
使用テキスト	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識		
評価方法	出席、授業取り組み、テスト		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	この科目では、トレーニング理論Ⅱで学習した内容を、問題を解きながら復習を繰り返し、知識の定着を図る。
到達目標	NSCA-CPT合格レベルの知識

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	各章確認問題と採点・復習	
	2	各章確認問題と採点・復習	
	3	各章確認問題と採点・復習	
	4	各章確認問題と採点・復習	
	5	各章確認問題と採点・復習	
	6	各章確認問題と採点・復習	
	7	各章確認問題と採点・復習	
	8	各章確認問題と採点・復習	
	9	各章確認問題と採点・復習	
	10	各章確認問題と採点・復習	
	11	各章確認問題と採点・復習	
	12	各章確認問題と採点・復習	
	13	各章確認問題と採点・復習	
	14	各章確認問題と採点・復習	
	15	各章確認問題と採点・復習	
	16	各章確認問題と採点・復習	
	17	各章確認問題と採点・復習	
	18	各章確認問題と採点・復習	
	19	各章確認問題と採点・復習	
	20	各章確認問題と採点・復習	
	21	各章確認問題と採点・復習	
	22	各章確認問題と採点・復習	
	23	各章確認問題と採点・復習	
	24	各章確認問題と採点・復習	
	25	各章確認問題と採点・復習	
	26	各章確認問題と採点・復習	
	27	各章確認問題と採点・復習	
	28	各章確認問題と採点・復習	
	29	各章確認問題と採点・復習	
	30	各章確認問題と採点・復習	

備考	
----	--

科目名	フィットネス実技	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	4
使用テキスト	なし		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方・提出物・実技試験の評価等		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	マットを使用したヨガ系エクササイズの体験・実技習得・指導の練習。及び音楽を使用したスタジオエクササイズの体験・実技習得・指導の練習。目標は各個人の進路に合わせ”インストラクションできるようになる””またはお手本となる実演能力を身につける”のどちらか選択し各目標に向け学ぶ。		
到達目標	トレーナー、運動指導者として必要なインストラクションまたは実演ができるようになる		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション(目標設定)、実技体験	
	2	スタジオエクササイズの体験①	
	3	ヨガ系エクササイズの体験①	
	4	スタジオエクササイズの体験②	
	5	ヨガ系エクササイズの体験②	
	6	スタジオエクササイズの体験③	
	7	ヨガ系エクササイズの体験③	
	8	スタジオエクササイズの体験④	
	9	ヨガ系エクササイズの体験④	
	10	スタジオエクササイズの体験⑤	
	11	ヨガ系エクササイズの体験⑤	
	12	実演指導内容計画(スタジオ系)	
	13	実演指導内容計画(ヨガ系)	
	14	実演指導内容計画(スタジオ系)	
	15	実演指導内容計画(ヨガ系)	
	16	実演指導練習(スタジオ系)①	
	17	実演指導練習(ヨガ系)①	
	18	実演指導練習(スタジオ系)②	
	19	実演指導練習(ヨガ系)②	
	20	実演指導練習(スタジオ系)③	
	21	実演指導練習(ヨガ系)③	
	22	中間発表	
	23	中間発表	
	24	実技試験練習(スタジオ系)	
	25	実技試験練習(ヨガ系)	
	26	実技試験練習(スタジオ系)	
	27	実技試験練習(ヨガ系)	
	28	実技テスト	
	29	実技テスト	
	30	実技テスト(予備日)	

備考	
----	--

科目名	アスレティックリハビリテーションⅡ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	4
使用テキスト	アスレティックリハビリテーション		
評価方法	出席・テスト		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	全コース		

科目概要	各部位と競技別のアスレティックリハビリテーション
到達目標	各部位と競技別のアスレティックリハビリテーションの理解

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2		
	3	腰部疾患へのアスリハ	117～132
	4		
	5		
	6	膝関節のアスリハ	188～211
	7		
	8		
	9	足関節のアスリハ	179～187
	10		
	11	足部のアスリハ	220～234
	12		
	13		
	14	肩関節のアスリハ	133～153
	15		
	期末試験		
	16		
	17	頸椎捻挫へのアスリハ	103～116
	18		
	19		
	20	肘関節のアスリハ	154～178
	21		
	22	大腿部のアスリハ	212～219
	23		
	24	脛骨周囲のアスリハ	235～255
	25		
	26	競技特性	256～275
	27		
	28		
	29	競技種目における動作特徴と体力特性	276～356
	30		
	期末試験		

備 考	
-----	--

科目名	健康運動実践指導者筆記対策	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	4
使用テキスト	健康運動実践指導者養成用テキスト 健康運動実践指導者試験分野別 & 模擬問題集		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方・提出物・模擬問題の点数等		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	健康運動実践指導者筆記に出題される養成テキストの内容を理解する		
到達目標	健康運動実践指導者合格		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	第1章	
	3	第2章	
	4	〃	
	5	〃	
	6	第3章	
	7	〃	
	8	〃	
	9	第4章	
	10	第5章	
	11	〃	
	12	第6章	
	13	〃	
	14	〃	
	15	確認テスト	
	16	第7章	
	17	〃	
	18	第8章	
	19	〃	
	20	〃	
	21	〃	
	22	〃	
	23	〃	
	24	第9章	
	25	模擬問題実施と解説	
	26	模擬問題実施と解説	
	27	模擬問題実施と解説	
	28	模擬問題実施と解説	
	29	模擬問題実施と解説	
	30	資格受験日	

備考	
----	--

科目名	健康運動実践指導者実技対策	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	2
使用テキスト	健康運動実践指導者養成テキスト		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方・提出物・実技試験の評価等		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	健康運動実践指導者実技試験で指導する水中および陸上運動の指導方法を習得する。水中・陸上ともにレジスタンス運動の指導があり、それぞれの実践指導法を学び、指導できるようになる。		
到達目標	健康運動実践指導者合格		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション(実技試験内容の説明)	
	2	陸上運動:エアロビックダンス(2分)の練習	
	3	陸上運動:エアロビックダンス(2分)の練習	
	4	陸上運動:レジスタンス運動の練習	
	5	陸上運動:レジスタンス運動の練習	
	6	陸上運動:5分間の練習	
	7	陸上運動:5分間の練習	
	8	陸上運動:5分間の練習	
	9	水中運動:アクアエクササイズの練習	
	10	水中運動:アクアエクササイズの練習	
	11	水中運動:レジスタンス運動の練習	
	12	水中運動:レジスタンス運動の練習	
	13	選択運動の指導練習	
	14	選択運動の指導練習	
	15	実技試験日	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	ビジネス能力検定対策Ⅱ	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	4
使用テキスト	各種テキスト・プリント等		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	各種ビジネス系検定対策講座
到達目標	各種検定の合格

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	3	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	4	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	5	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	6	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	7	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	8	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	9	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	10	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	11	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	12	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	13	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	14	各検定の公式テキスト、過去問題集の学習	
	15	試験日	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--

科目名	スポーツ実技演習	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	2
使用テキスト	なし		
評価方法	出席、授業取り組み		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	各種スポーツを実践し、競技理解を高めるとともに、個人の体力を向上させる
到達目標	各スポーツ競技特性の理解

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16	オリエンテーション	
	17	状況系スポーツ(球技、対人競技系)	
	18	状況系スポーツ(球技、対人競技系)	
	19	状況系スポーツ(球技、対人競技系)	
	20	状況系スポーツ(球技、対人競技系)	
	21	状況系スポーツ(球技、対人競技系)	
	22	持久系スポーツ	
	23	持久系スポーツ	
	24	力・瞬発力系スポーツ	
	25	力・瞬発力系スポーツ	
	26	コオディネーショントレーニング1	
	27	コオディネーショントレーニング2	
	28	コオディネーショントレーニング3	
	29	コオディネーショントレーニング4	
	30	まとめ	

備考	
----	--

科目名	スポーツ科学Ⅲ	担当講師	牛山幸彦 森 恭
		実務経験	有
履 修 期 間	通年	単 位 数	2
使用テキスト	入門運動生理学、トレーニング指導者テキスト理論編、ワークブック		
評 価 方 法	①出席状況 ②授業に取り組む姿勢 ③筆記試験		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	全コース		

科 目 概 要	スポーツ心理学と運動生理学の基礎的知識の習得
到 達 目 標	運動生理学の基礎的知識の習得

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	筋収縮とエネルギー供給系	1～11
	3	筋線維の種類とその特徴	12～20
	4	神経系の役割	21～31
	5	筋の収縮様式と筋力	32～43
	6	運動と循環	44～50
	7	運動と呼吸	51～64
	8	運動とホルモン	65～74
	9	身体組成と肥満	75～82
	10	運動処方	83～93
	11	運動と生活習慣病	94～106
	12	運動と体温調節	107～112
	13	筋疲労の要因	113～120
	14	老化に伴う身体機能の変化・運動と栄養	121～139
	15	まとめ	
	期末試験		
	16	オリエンテーション	
	17	運動と心理に関する基礎理論	136～143
	18		
	19		
	20		
	21	スポーツ選手の競技力向上への活用	144～151
	22		
	23		
	24		
	25	一般人の健康増進への活用	152～158
	26		
	27		
	28		
	29	まとめ	
	30		

備 考	対面授業とオンライン授業の併用
-----	-----------------

科目名	パーソナルトレーナー講座	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	2
使用テキスト	配布資料		
評価方法	出席、授業取り組み、テスト		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	顧客のニーズをニーズを聞き出し、それに応えることが必要となる。その基本となる顧客のニーズを聞き出す技術を習得します。また、信頼関係を築きなんでも話しやすい環境を作る方法を学んでいきます。パーソナルトレーナーに必要なカウンセリング技術、ティーチング技術、コーチング技術を習得する授業。		
到達目標	人を動機付けやる気にさせる事ができる		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16	オリエンテーション	
	17	クライアントのやる気を引き出すテクニックの全体像(動因、誘因、誘因の提示の仕方)	
	18	聞く技術の練習	
	19	聞く技術の練習	
	20	聞く技術の練習	
	21	誘因の提示練習	
	22	SOAP事例1～3	
	23	SOAP事例1～3	
	24	フィットネスクラブでよく聞かれる質問に回答してみる	
	25	フィットネスクラブでよく聞かれる質問に回答してみる	
	26	EGOグラム自己診断、クレッチマーの気質類型論、エリックバーンの交流分析(PAC)	
	27	心の栄養ストローク(PDFファイルを参考に、内容をまとめる)	
	28	交流分析ケーススタディ1	
	29	交流分析ケーススタディ2	
	30	交流分析ケーススタディ3	

備考	
----	--

科目名	ニュートリション I	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	4
使用テキスト	スポーツフードアドバイザー養成テキスト(1・2・食事カルテBOOK)		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方・提出物・模擬問題の点数等		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	スポーツフードアドバイザー合格に必要な知識を身につけ、実践できるようになる。		
到達目標	スポーツフードアドバイザー合格・資格を活かした栄養指導		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・スケジュール確認	
	2	①-1:01~03	
	3	①-1:04~06	
	4	①-1:07~09	
	5	練習問題の実施と解説	
	6	①-2:01~02	
	7	①-2:03~04	
	8	練習問題の実施と解説	
	9	①-3:01~02	
	10	①-3:03~05	
	11	①-3:06~10	
	12	練習問題の実施と解説	
	13	②-1:01~03	
	14	②-1:04~06	
	15	練習問題の実施と解説	
	16	②-2:01~02	
	17	②-2:03~04	
	18	練習問題の実施と解説	
	19	②-3	
	20	練習問題の実施と解説	
	21	添削問題①	
	22	添削問題②	
	23	添削問題③	
	24	献立作成(例題①)	
	25	献立作成チェックと修正	
	26	献立作成(例題②)	
	27	献立作成チェックと修正	
	28	献立作成(例題③)	
	29	試験提出	
	30	科目修了課題提出	

備考	
----	--

科目名	ボディメイク講座	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	4
使用テキスト	配布資料		
評価方法	出席状況、提出物、授業取り組み		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	身体組成や各体力要素を高めるトレーニング様式を体験し、それぞれのトレーニング様式の理解度を高める授業
到達目標	各種体力要素とトレーニング方法のイメージが合う事、自身の身体組成を改善させるエクササイズ計画を立案し、目標達成する事

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	筋肥大系のトレーニングプロトコルの実践(上半身、コア系)	
	3	筋肥大系のトレーニングプロトコルの実践(下半身、コア系)	
	4	サーキットトレーニングプロトコルの実践1	
	5	サーキットトレーニングプロトコルの実践2	
	6	コオディネーショントレーニング系トレーニング体験1	
	7	コオディネーショントレーニング系トレーニング体験2	
	8	アジリティ系、インターバル系のTR体験1	
	9	アジリティ系、インターバル系のTR体験2	
	10	プライオ・ウエイトリフティング系のトレーニングプロトコルの実践1	
	11	プライオ・ウエイトリフティング系のトレーニングプロトコルの実践2	
	12	TABATA TR作成と実施(グループワーク)	
	13	各自の目標達成するためのTR計画・測定計画	
	14	各自の目標達成するためのTR計画・測定計画	
	15	初回測定	
	16	初回測定	
	17	各自の目標達成するためのTR	
	18	各自の目標達成するためのTR	
	19	各自の目標達成するためのTR	
	20	各自の目標達成するためのTR	
	21	各自の目標達成するためのTR	
	22	各自の目標達成するためのTR・中間測定	
	23	各自の目標達成するためのTR	
	24	各自の目標達成するためのTR	
	25	各自の目標達成するためのTR	
	26	各自の目標達成するためのTR	
	27	各自の目標達成するためのTR	
	28	各自の目標達成するためのTR	
	29	各自の目標達成するためのTR	
	30	各自の目標に対する最終測定	

備考	
----	--

科目名	アロマテラピー検定対策	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	4
使用テキスト	アロマテラピー検定公式テキスト(1級・2級)		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方・提出物・検定の可否等		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	アロマテラピー検定合格のために必要な知識を習得する。		
到達目標	アロマテラピー検定2級(または1級)合格		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション・スケジュール確認	
	2	1. アロマテラピーの基本	P8～
	3	2. きちんと知りたい、精油のこと	P14～
	4	3. アロマテラピーの安全性	P28～
	5	4. アロマテラピーを実践する	P35～
	6	4. アロマテラピーを実践する	P42～
	7	精油のプロフィール	P94～
	8	精油のプロフィール	
	9	精油のプロフィール	
	10	練習問題と解説①	
	11	練習問題と解説②	
	12	練習問題と解説③	
	13	苦手な項目を分析＆学習	
	14	練習問題の再チャレンジ	
	15	アロマテラピー2級受験	
	16	6. アロマテラピーとビューティー＆ヘルスケア	P62～
	17	6. アロマテラピーとビューティー＆ヘルスケア	
	18	7. アロマテラピーの歴史をひもとく	P76～
	19	7. アロマテラピーの歴史をひもとく	
	20	8. アロマテラピーに関係する法律	P88～
	21	8. アロマテラピーに関係する法律	
	22	精油のプロフィール	P98～
	23	精油のプロフィール	
	24	精油のプロフィール	
	25	練習問題と解説①	
	26	練習問題と解説②	
	27	練習問題と解説③	
	28	アロマテラピーの実践	
	29	アロマテラピーの実践	
	30	課題提出	

備考	
----	--

科目名	AT筆記対策Ⅱ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履 修 期 間	半期	単 位 数	2
使用テキスト	スポーツ外傷障害・機能解剖		
評 価 方 法	出席・実技試験		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	全コース		

科 目 概 要	測定と評価・健康管理とスポーツ医学・測定と評価の理解		
到 達 目 標	AT筆記合格		

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	科学傾向と対策	
	3	解答	
	4	解説	
	5	解答	
	6	アウトプット	
	7	健康管理とスポーツ医学傾向と対策	
	8	解答	
	9	解説	
	10	解答	
	11	アウトプット	
	12	測定と評価傾向と対策	
	13	解答	
	14	解説	
	15	解答	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	AT筆記対策Ⅲ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履 修 期 間	半期	単 位 数	2
使用テキスト	AT教科書全般		
評 価 方 法	出席・実技試験		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	全コース		

科 目 概 要	応用リハビリ・応急処置・コンディショニングの理解		
到 達 目 標	AT筆記合格		

科 目 内 容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	リハビリ傾向と対策	
	3	解答	
	4	解説	
	5	解答	
	6	アウトプット	
	7	応急処傾向と対策	
	8	解答	
	9	解説	
	10	解答	
	11	アウトプット	
	12	コンディショニング傾向と対策	
	13	解答	
	14	解説	
	15	解答	
	16	模擬試験	
	17	解説	
	18	振り返り	
	19	模擬試験	
	20	解説	
	21	振り返り	
	22	模擬試験	
	23	解説	
	24	振り返り	
	25	模擬試験	
	26	解説	
	27	振り返り	
	28	模擬試験	
	29	解説	
	30	振り返り	

備 考	
-----	--

科目名	コンディショニング演習Ⅲ	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	4
使用テキスト	なし		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方、課題提出の評価等		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	運動プログラムを立案・実践し、指導中(実施中)に発生する問題に対し、修正ができるようになる。楽しく安全に実施するためのコンディショニング方法を習得する。		
到達目標	適切なトレーニングプログラムの処方・実践		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	ウォーミングアップの方法と指導	
	3	ストレッチングの種類と選択	
	4	ストレッチングの種類と選択(実践)	
	5	有酸素運動の種類と目的	
	6	有酸素運動の種類と目的(実践)	
	7	目的別筋強化とプログラム(器具の選択方法)	
	8	目的別筋強化とプログラム(器具の選択方法)	
	9	目的別筋強化とプログラム(実践)	
	10	目的別筋強化とプログラム(実践)	
	11	運動の対象者と集団指導	
	12	運動の対象者と集団指導(子ども向け)	
	13	運動の対象者と集団指導(成人向け)	
	14	運動の対象者と集団指導(高齢者向け)	
	15	体力測定と評価	
	16	疲労回復(リカバリー)のコンディショニング	
	17	疲労回復(リカバリー)のコンディショニング(実践)	
	18	球技のためのコンディショニング	
	19	球技のためのコンディショニング(実践)	
	20	健康づくりのためのコンディショニング	
	21	健康づくりのためのコンディショニング(実践)	
	22	クールダウンの方法と指導	
	23	トレーニングプログラムの実践	
	24	トレーニングプログラムの実践	
	25	トレーニングプログラムの評価	
	26	トレーニングプログラムの指導立案	
	27	トレーニングプログラムの指導立案	
	28	トレーニングプログラムの指導実践	
	29	課題作成	
	30	課題提出	

備考	
----	--

科目名	フィットネス演習	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	前期	単位数	4
使用テキスト	なし		
評価方法	出席状況・授業の取り組み方・提出物・実技試験の評価等		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	マットを使用したヨガ系エクササイズの体験・実技習得・指導の練習。及び音楽を使用したスタジオエクササイズの体験・実技習得・指導の練習。目標は各個人の進路に合わせ”インストラクションできるようになる””またはお手本となる実演能力を身につける”のどちらか選択し各目標に向け学ぶ。		
到達目標	トレーナー、運動指導者として必要なインストラクションまたは実演ができるようになる		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション(目標設定)、実技体験	
	2	スタジオエクササイズの体験①	
	3	ヨガ系エクササイズの体験①	
	4	スタジオエクササイズの体験②	
	5	ヨガ系エクササイズの体験②	
	6	スタジオエクササイズの体験③	
	7	ヨガ系エクササイズの体験③	
	8	スタジオエクササイズの体験④	
	9	ヨガ系エクササイズの体験④	
	10	スタジオエクササイズの体験⑤	
	11	ヨガ系エクササイズの体験⑤	
	12	実演指導内容計画(スタジオ系)	
	13	実演指導内容計画(ヨガ系)	
	14	実演指導内容計画(スタジオ系)	
	15	実演指導内容計画(ヨガ系)	
	16	実演指導練習(スタジオ系)①	
	17	実演指導練習(ヨガ系)①	
	18	実演指導練習(スタジオ系)②	
	19	実演指導練習(ヨガ系)②	
	20	実演指導練習(スタジオ系)③	
	21	実演指導練習(ヨガ系)③	
	22	中間発表	
	23	中間発表	
	24	実技試験練習(スタジオ系)	
	25	実技試験練習(ヨガ系)	
	26	実技試験練習(スタジオ系)	
	27	実技試験練習(ヨガ系)	
	28	実技テスト	
	29	実技テスト	
	30	実技テスト(予備日)	

備考	
----	--

科目名	アスレティックリハビリテーション指導演習	担当講師	佐野
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	4
使用テキスト	なし		
評価方法	出席・実技		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	全コース		

科目概要	アスレティックリハビリテーションを実際に指導できるように様々な課題に対して指導していく		
到達目標	アスレティックリハビリテーションを指導できる		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション	
	2	静的アライメント評価①	
	3	静的アライメント評価②	
	4	静的アライメント評価③	
	5	静的アライメント評価④	
	6	動のアライメント評価①	
	7	動のアライメント評価②	
	8	動のアライメント評価③	
	9	動のアライメント評価④	
	10	動のアライメント評価⑤	
	11	競技動作評価①	
	12	競技動作評価②	
	13	競技動作評価③	
	14	競技動作評価④	
	15	まとめ	
	期末試験		
	16	アライメント・動作修正演習①	
	17	アライメント・動作修正演習②	
	18	アライメント・動作修正演習③	
	19	アライメント・動作修正演習④	
	20	アライメント・動作修正演習⑤	
	21	アライメント・動作修正演習⑥	
	22	アライメント・動作修正演習⑦	
	23	アライメント・動作修正演習⑧	
	24	アライメント・動作修正演習⑨	
	25	アライメント・動作修正演習⑩	
	26	アライメント・動作修正演習⑪	
	27	アライメント・動作修正演習⑫	
	28	アライメント・動作修正演習⑬	
	29	アライメント・動作修正演習⑭	
	30	まとめ	

備考	
----	--

科目名	トレーニング指導演習	担当講師	五十嵐 光一
		実務経験	有
履修期間	後期	単位数	4
使用テキスト	NSCAコーチコース プレパレーション資料		
評価方法	出席、授業取り組み、テスト		

対象学科	アドバンストレーナー科、アスレティックトレーナー科	対象学年	3
対象コース	上記対象全コース		

科目概要	バーベル・ダンベルを使用したレジスタンストレーニングにおける、導入のウォームアップや、指導中に見られるエラーを見抜き、改善に適したエクササイズ処方と指導ができることを目指す。		
到達目標	プレパレーションエクササイズの適切な処方と指導、レジスタンスTRの指導ができる、集団指導ができる、腰痛を持つ方への運動指導ができる		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	オリエンテーション(資料の使い方)	
	2	4つの前提種目の実施(パートナーフットプレス・プレスダウン)	
	3	4つの前提種目の実施(グラビング・バルーンブリージング)	
	4	各種プレパレーションEXの実施(足関節背屈、脊柱屈曲、ヒップヒンジ)	
	5	各種プレパレーションEXの実施(脊柱伸展、肩甲骨、ニーリングハンドスライドアップ)	
	6	4つの前提種目の指導練習	
	7	4つの前提種目の録画提出	
	8	8つのEX レベルチェック(SQ,DL,ランジ,ワンレグRDL,プッシュアップ,SP,ローイング,プルアップ)	
	9	自分のセルフコンディショニングプログラム作成(グループディスカッション)	
	10	セルフコンディショニング実施	
	11	8つのEX プログレッション・リグレーション問題	
	12	8つのEX エラーチェック問題	
	13	①腰部・腹部②足部・下腿③大腿部・股関節④胸椎・肩甲骨⑤上肢 EX練習	
	14	①腰部・腹部②足部・下腿③大腿部・股関節④胸椎・肩甲骨⑤上肢 指導練習	
	15	①腰部・腹部②足部・下腿③大腿部・股関節④胸椎・肩甲骨⑤上肢 録画提出	
	16	パーソナル指導の基礎練習	
	17	パーソナル指導の基礎練習	
	18	パーソナル指導BIG3の指導テスト	
	19	パーソナル指導BIG3の指導テスト	
	20	集団指導の基礎練習	
	21	集団指導の基礎練習	
	22	集団指導のテスト	
	23	集団指導のテスト	
	24	腰痛を持つ方への運動指導	
	25	腰痛を持つ方への運動指導	
	26	腰痛を持つ方への運動指導	
	27	腰痛を持つ方への運動指導テスト	
	28	腰痛を持つ方への運動指導テスト	
	29	まとめ1	
	30	まとめ2	

備考	
----	--

科目名	AT筆記試験対策Ⅳ	担当講師	佐野 英朗
		実務経験	有
履 修 期 間	半期	単 位 数	2
使用テキスト	AT教科書全般		
評 価 方 法	出席・実技試験		

対 象 学 科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対 象 コ ー ス	全コース		

科 目 概 要	客観式基礎試験対策		
到 達 目 標	AT筆記合格		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	外傷障害(下肢)解答	
	2	外傷障害(下肢)解説	
	3	外傷障害(脊柱頭部)解答	
	4	外傷障害(脊柱頭部)解説	
	5	外傷障害(上肢)解答	
	6	外傷障害(上肢)解説	
	7	科学解答	
	8		
	9	科学解説	
	10		
	11	内科解答	
	12	内科解説	
	13		
	14	測定解答	
	15	測定解説	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備 考	
-----	--

科目名	AT筆記試験対策Ⅴ	担当講師	佐野
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	4
使用テキスト	AT教科書全般		
評価方法	出席・実技試験		

対象学科	アスレティックトレーナー科・アドバンストレーナー科	対象学年	3
対象コース	全コース		

科目概要	客観式応用試験対策		
到達目標	AT筆記合格		

科目内容	授業回	内 容	テキストページ・項目
	1	リハ(部位)解答	
	2	リハ(部位)解説	
	3	リハ(競技・動作)解答	
	4	リハ(競技・動作)解説	
	5	リハ(その他)解答	
	6	リハ(その他)解説	
	7	リハ(トレ)解答	
	8	リハ(トレ)解説	
	9	コンディショニング解答	
	10	コンディショニング解説	
	11	測定解答	
	12	測定解説	
	13		
	14	応急解答	
	15	応急解説	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

備考	
----	--